



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	尾崎脩四郎先生の御逝去を悼む(40周年記念特集号)(fulltext)
Author(s)	次山,信男
Citation	学芸地理(46): 1-1
Issue Date	1992-03-31
URL	http://hdl.handle.net/2309/119301
Publisher	東京学芸大学地理学会
Rights	

尾崎厩四郎先生の 御逝去を悼む

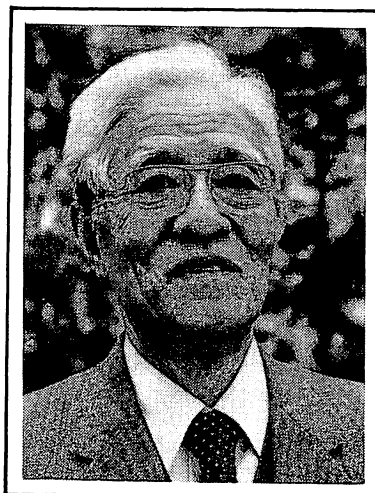
次 山 信 男

1991年10月30日、名誉会員尾崎厩四郎先生は八王子市内の病院で心不全のため御逝去されました。行年89歳。謹んで哀悼の意を捧げます。

先生は、1902年新潟県高田（上越市）のお生まれで、高田師範卒業後地元の小学校訓導を経て東京高等師範で地理学を学び、以後岡山女子師範、千葉県立長狭中、千葉女子師範で教鞭をとられました。1942年文部省に入られ教科書の編纂に携わり、1947年に新教科社会科の誕生に関与されます。そして、同年、東京第一師範学校教授に就任し、1951年引き続き東京学芸大学教授として社会科教育学講座を定年（1965）まで主宰され、その後も、立正大学・聖徳短大で社会科教育学の講義を続けられました。

この間50余年の永きにわたり、先生は、地理学及び社会科教育学の学術研究とその教育に心血を注がれ、1961年には『わが国におけるマーガレット露地栽培地の地理学的研究』によって理学博士（東京文理科大学）に、1962～65年には日本社会科教育学会長になられ、そして、1990年に勲三等旭日中綬章の栄誉を賜われました。

先生のご業績は後掲するように多数に上りますが、特にその後半生においては地誌学と社会科教育学の統合にありました。先生は高齢になられてからも常に自らフィールドに出て地誌学を追究され、それを社会科教育の目標・内容・方法へ統一的に昇華させようと、学生指導の場ではもとよりのこと、学校現場にも積極的に出向き実証的な努力を重ねられ



故尾崎厩四郎先生（1902～1991）

ました。その一端は『学芸地理』の10周年記念号・30周年記念号に寄稿されております。

先生の薫陶をうけた本学会員の多くは、今や学界・教育界の中枢にあって活躍しています。先生は、どこにお出かけになるにもナップサックを背負い、“常にフィールドワーカーたれ！”と、私たちを諭し励されました。もう、その先生の温顔に接することができません。寂しいかぎりです。ここに会員一同、心より先生の御冥福をお祈り申し上げます。

【尾崎厩四郎先生の主な御著書】

『房州の地誌』1929. 『新日本地理教授』1935.
『新東亜世界地理教授』1939. 『千葉県の地誌』1941. 以上古今書院. 『社会科教育』岩崎書店 1950. 『郷土地誌提要』三省堂 1951. 『千葉県新誌』日本書院 1952. 『わが国におけるマーガレット露地栽培地の地理学的研究』1962. 『小学校社会科学習内容の順序と資料の活用—社会科教育学原理の探究—』（共著）.1962. 以上葵書房. 『微細地誌—地誌学・社会科教育学の原点—』二宮書店 1979. 『社会科教育学—実践と理論の相互補完—』（編著）東洋館出版 1983. 『房総地誌の研究』古今書院 1985.